

令和3年度 第2回 日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	令4年3月8日
招集場所	日南町役場 第2会議室
開 会	午後3時45分 教育長
出席委員	中村町長 青戸教育長 西村教育委員 山脇教育委員 中村教育委員 中島教育委員
欠席委員	なし
オブザーバー	丸山副町長、木下総務課長、村上教育次長、吹野日南中学校長、吉田日南小学校長、山本保育園長、段塚課長、三上専門監、福田統括室長、三上室長、長谷部参事

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
1 開会	教育長	開会
挨拶	町長	今年の冬はたくさん雪が降ったが、雪も悪いイメージばかりではない。少しずつ春の声が聞けるようになった。さて、町政の中で、教育は重要なポイントだと思っている。1月には、コミュニティ・スクールが立ち上がり、4月からは認定こども園がスタートする。教育の体制が整ってきた。まなびや縁側も再スタートする。これから大きな一歩を踏み出すこととなる。本日は、これまでのお礼と意見交換をしっかりとやりたいと思っている。
2 協議 ○園・小・中 一貫教育につ いて	教育長 室長	○園・小・中一貫教育について 園・小・中一貫教育について協議に入る前に、事務局より「R3年度1学期 i-check 結果の概要」「園・小・中一貫教育ビジョン」について説明をお願いしたい。 この i-check は1学期のもので、グレーの線が全国平均で50としたとき、青い線が日南町の子どもたちを表している。小1から中3までの全体を見たとき、①自己肯定感が低い ②ソーシャルスキルが弱い ③学習意欲が低い この3つの課題が見られる。これらが上がっていかないので、学力もつい

	教育長	<p>ていかない。こうした実態を元に、各学年は取り組みを進めている。</p> <p>また、「園・小・中一貫教育ビジョン」については、今年度、保育園や小中学校の先生方と策定した。</p> <p>① 学び続ける力 ② 関わり合う力 ③ ふるさとを愛する心 の3つを柱として進めていく。今後学校とも協議しながら改善していきたい。</p> <p>「令和4年度日南町立認定こども園・小学校・中学校 経営方針（案）」については、現在、園長先生、校長先生方において作成してもらっているところである。経営の基本理念を4つに分けて書いている。第1に子どもの権利条約について、第2にコミュニティ・スクールについて、第3に日南町の子どもの教育在り方検討会の答申について、第4に園・小・中一貫教育ビジョンについて書いてある。園・小・中で共通のものとして設定した。これから、園・小・中が一緒になってやっていくという方針を立てた。</p>
	吹野校長	<p>では、園・小・中での課題等について話をさせていただきたい。中学校からどうぞ。</p> <p>自己肯定感が低いということは、ずっと言われている。中学校では、行事を通して感動の共有をし、友だちとの一体感を大事にしている。地域への貢献も、ふるさと祭り等で行っている。各行事については、やってよかった、やればできると感じた生徒も多かった。学習面については、放課後、プリント学習を徹底している。成果として、3学期のテストで、ある学年は全教科で全国平均を上回った。学習習慣がついていない生徒も、勉強しないと点がとれないことが分かってきたようだ。</p>
	吉田校長	<p>小学校は、関わり合いに課題がある。そこで今年度は、学級づくり、学級力を高める取り組みを実践した。プラスの関わりを心がけたり、お互いを認め合ったりする活動を行ってきた。先日、「6年生を送る会」があり、各学年の発表はオンラインで行った。6年生も感動して涙を流して喜んでいた。</p> <p>また、粘り強く取り組む、進んで取り組むことは、まだ課題がある。学力についても課題はある。</p>
	山本園長 教育長	<p>保育園は自然環境が豊かで、体づくりについて、自分が思うように体が動かせるようになってきた。自分の思いを言葉で伝えるのはまだまだである。また、あきらめの早さ、失敗を恐れる傾向はある。今年度、交流保育で同年代の子どもが集まる機会を増やした。同年齢同士のつながりが出てきた。それぞれ、現状と課題を言っていたいただいた。何かご意見があれば。</p>

教育委員	日南町の子どもの教育在り方検討会では、学校と家庭の関係がクローズアップされた。「おらが学校」という気持ちで、昔は競い合った。かしらうち、通学合宿、いろいろあった。昨今の状況を見ると、保護者と連携した行事が少なくなった。ここの部分が教育の基本にないといけない。PTA活動の中で、親の心構えが見えない。もっと家庭の教育力を唱っていくべき。令和2年12月2日、保育士や教職員が集まって協議をされている。今年度は、開催できているか。
次長	毎年開催するという会ではなく、生徒指導の問題もあり、保育士、教職員みんなで思いを共有するために会を開催した。
教育委員	その分析はしてあるか。今年は、やらなくてよい判断なのか。
次長	それぞれ保・小・中で頑張ってもらっている。子どもたちは比較的落ち着いている。
教育委員	非常によい会だったのなら、また検討してほしい。
吉田校長	12月の会は、生徒指導についての協議をした。なぜ、子どもたちはそのような問題行動を起こすのか。中学校の手法を聞いたり、保育園では、どういう力をつけておけばよいか協議したりした。現在、小学校、中学校の担当者レベルでの会もできて、情報共有ができています。
教育長	保・小・中それぞれで、どんな力をつけておけばよいか、これは大事なところ。取り組みを進めていきたい。
町長	家庭教育を重視すべきというのは、国の考えでもある。コミュニティ・スクールが発足し、地域の皆さんが学校づくりへの関わりをもつことができた。両親そろって学校に出かけ、学校の考え方を知ることが大切。共有が大事だと思う。結局は家庭が中心。
教育委員	保護者に現実を自覚してもらうことが必要。昔のように、喧々諤々とやってほしい。
教育委員	夫婦での共有は難しい。今、何でもかんでも学校の責任という雰囲気はある。その中で、親として何ができるか模索したい。
教育委員	地域や家庭が支えていくというのが、コミュニティ・スクールの基本。園・小・中一貫教育を進めるということは、コミュニティ・スクールが進むことにつながる。先ほどの保育園の話聞いて、体験は大切だと思う。同年齢の活動と言われたが、4月生まれと3月生まれでは、1年の差がある。それを同年齢集団でくくるのはどうか。新宿せいがこども園に学んだが、異年齢のグループをつくり、自

	教育長	分たちで考え、自分たちで選択して活動することも必要だと思う。小さい時から、自立に向けて育てていきたい。
	吹野校長	新宿せいがこども園では、異年齢で学ぶということ、3歳の子も5歳の子も一緒に学んでいる。中学校でも言えるのではないか。昨夜の、学校運営協議会で吹野校長の話が感動したので、皆さんに紹介してほしい。
	教育長	行事、例えば体育祭を縦割りで行っている。最後に3年生に対して、1、2年生からメッセージを送り、3年生も、1、2年生にメッセージを送り、お互いに認め合うことを大切にしている。中1の生徒も、入学当初は「たいぎい」「何でこんなことをするのか」という態度だったが、全校合唱の場面で、上級生が指導すると、やりたくなかった生徒、本当はやりたかった生徒が大きな声で歌っている。日南中は小規模校なので、一人一役で活躍する場面があり、高校に行ってキャプテンをしたり、みんなをまとめたりして活躍している。そういった先輩の話を生徒にも話している。
	教育委員	本当に素晴らしいことだと思う。小学校、中学校で力をつけてきたからこそである。我々が知らないことはもったいない。
	教育委員	大宮に戻ってきたとき、何に驚いたかということ、大宮小の保護者全員が行事を創り上げていたのにびっくりした。親も子ども学校に愛着があった。親だけでなく、地域が子どもを育ててくださった。小学校統合で、その気持ちが薄まったように思う。
	教育委員	先ほどの中学校の話で、中3の生徒が下級生を指導することは大事だと思った。保育園も共通の活動をした後に、ぜひ、言葉で表現してほしい。
	教育長	言葉で表現すること、アウトプットということ。保育園からやっていくことが大事。
	町長	園・小・中一貫教育ビジョンの研究組織の中で、SDG'S 学習の次に、ぜひ脱炭素社会も追加してほしい。日南町は積極的に取り組んでおり、全国的な表彰もされているので、こういうことを考える学習も加えてほしい。
○認定こども園について	教育長	○認定こども園について 園長先生、認定こども園について意気込みをどうぞ。

山本園長	町の教育目標を理解して、保育園の理念にしたい。異年齢の保育について考えながら取り組んでいるところ。山の上保育園、石見保育園は、初めから異年齢で保育せざるを得ないところである。このたび、共に助け合って力を出し合い、「共存共栄」という理念を設定した。就学前の教育は、学習に向かう基礎を育むこと。体験を通してやったことでないと身につかないので、体験を通して想像力・判断力をつけたい。「日南学」を元に体験を広げていきたい。
教育長	1つは、組織マネジメントすることが必要。保育士一人ひとりの力はある。マネジメント力が必要。一人ひとりの力が発揮できるような組織になればよい。分掌のような形もあってよいのではないか。
教育委員	保育士を新宿せいがこども園に派遣して、研修して帰ってきてもらうのはどうか。
町長	2年前から行ってきた。1か月でもいいから研修に行っていってほしいと言ってきた。予算はとってある。
課長	新宿せいがこども園に行かせていただいたが、実際に行き発見できるのは勉強になる。予算もついている。
教育委員	具体的にどう取り組むかが大事。ある保護者から相談をうけたことがある。子どもがやりたくない足が止まった時、物でつって向かわせる。これでは、主体性が育たないのではないか。また、鉄棒ができなかった子どもが、魔法のタオルでできるようになった。それなのに、運動会本番で、また魔法のタオルが出てきて、親は疑問だったと言われた。親としては、せっかくできていたのに、と感じられたそうである。
教育長	では、こども園について、皆さん、期待することなど言ってほしい。
教育委員	保育士同士が話し合いながら、必ず後に評価してほしい。1人の評価に対して、どのような支援をしていくか、保・小・中のカリキュラムを納得して実践してほしい。
教育長	見える化することが大事。保育園には、TASPという子どもの傾向が分かる検査のようなものがあり、やってみた。成果はあったか。
山本園長	子どもの傾向が分かる。客観的に様子が分かるのがよい。評価は、まだ十分ではないが、保育士同士の話し合いは大事だと思っている。
教育長	積み重ねることによって、何人かでその子を見るので、成長したところが分かれば嬉しいと思う。

3	その他	町長	こども園の特徴を生かし、小中へのつなぎとして頑張っていたきたい。本日、園長先生の話されたことを書面でほしい。保護者との関係を言うと、保育園では、わりと保護者は参加するので小学校につなげて行ってほしい。
		教育委員	3園の合同保護者会は開催されたか。
		山本園長	9月に1回開催した。2回目も計画していたが、コロナで中止とした。3園の保護者が集まることは大切だと思う。
		教育委員	小中へつながるので、ぜひ、実施していただきたい。
		統括室長	○まなびや縁側「サテライト」について（情報共有） *資料「まなびや縁側（日南町）内容、方針」について説明
		教育長	隠岐の島の西ノ島町の交流の話聞いたことがある。9割が島に戻ってきて活躍している。日南町の良さを知ると戻ってくる。
3	挨拶	教育委員	日野、江府、日南の3町それぞれで、展開するように至った経緯はどうか。
		統括室長	各町に居住している生徒が活躍できるのは各町である。ふるさと教育も各町の考え方が少し違うので、それぞれ独自性を保ちながら、発展させ取り組んでいくこととなった。
		町長	とりあえずスタートした1年であった。サテライトはステップアップだと捉えている。
閉会	町長	この春、さまざまなことがスタートする。教育はすぐに成果は出ないが、右往左往せず、先を見据えてやってほしい。今の子どもたちが成長できるようこれからも尽力したい。	
	教育長	本日はありがとうございました。 以上で令和3年度第2回総合教育会議を閉じます。	

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員